



器用な手さばきで縄をなう

縄をなって豊作を祈願

「農はだて」には、その年に使う縄をなう習慣があります。「昔は1月11日に日付が変わってすぐに縄ないをしたもんだ。」「学校で縄をなう競技会があって、1位2位を争ったなあ。」「私は浜から嫁に来てから、初めて縄をなったので苦労したよ。」などと思い出話をしながら、器用な手さばきで次々と縄をなっていました。

縄をなって豊作を祈願
農耕行事「農はだて」

昔からの風習で、1月11日(金)は「農はだて」と言って、農作業の仕事始めにあたる日。ひころの里「松笠屋敷」では、施設を運営する「ひころレディース」のメンバーと地域の高齢者が集まり、「農はだて」の行事が行われました。



餅に米がたくさん付いていたので豊作か!?

豊作を期待できそう!?

今年の作柄を占う「作試し」が行われました。

作試しは、前年12月28日についた3個の餅を米の上に並べ、その上に伏せておいた臼を「農はだて」の朝に開き、餅についた米粒の様子で、稲作の作柄を予想するものです。

開いてみると、すべての餅に米がたくさん付いていたことから、「今年も天候に恵まれ、秋の実りが期待できそうだ」と、集まった皆さんはうれしそうに話していました。



マダコが豊漁で、例年より安く販売されました

にぎわう「おすばで祭り」

昨年12月29日(土)、志津川魚市場を会場に、「南三陸志津川湾おすばで祭り」が行われました。「おすばで」とは三陸沿岸部では酒の肴のことをいいます。

会場は、年越し用品やお正月品として、地元でとれたアワビ、ナマコ、カレイなど新鮮な海の幸や、農産物などを買い求める人たちににぎわいました。

今年は特にマダコが豊漁で店先にも数多く並べられ、買い物客は熱心に品定めをしていました。

事故や災害の無い一年でありますように
地域の安全を願う 消防団等出初式

1月4日(金)、南三陸町消防団と南三陸町交通指導隊の出初式が、海浜公園・荒島パークで行われました。

消防団、指導隊ともに昨年4月に統合して初めての出初式で、南三陸消防署員など合わせて約600人が出席。事故や災害の無い一年であることへの願いと、安全安心のまちづくりに貢献することを誓い合いました。



歌津地区では伊里前商店街パレードも行われました



荒島防波堤から一斉放水



はしご乗りで、3人の署員が大技を披露



安全安心のまちづくりに貢献することを誓い合う

フットサルでさわやかな汗

1月20日(日)、第3回南三陸町フットサル大会が、志津川公民館で開催されました。

フットサル競技は、5人制の室内サッカー競技で、気軽楽しめることから人気のスポーツです。

大会には8チームが出場し、2ブロックに分かれてリンク戦による予選が行われ、上位2チームが順位決定戦に臨みました。接戦を制したのは20歳の同級生チーム「アクエリアス」で、初優勝。

選手の皆さんはボールを追いかけコートいっぱいに走り回り、さわやかな汗を流していました。



ゴールを目指してコートいっぱいに走り回る選手たち

子どもたちが畑を守るネズミたちを応援



ネズミたちの人形劇

1月20日(日)、町総合体育館ベイサイドアリーナ文化交流ホールで町親子芸術鑑賞会・人形劇「14ひきのかぼちゃ」が公演され、会場に訪れた親子と一緒に、ネズミたちが主人公の人形劇を楽しみました。

公演は、テレビなどでも活躍している人形劇団ポポロによるもので、人間から「かぼちゃの種は命の粒」と言われたネズミたちが種を植え、苦労しながらも育てていく物語です。

子どもたちは、人形劇の魅力に引き込まれ、ネズミを応援したり、一緒に喜んだりしていました。



公演終了後、家族で楽しく人形作りを体験